能力認定リスト：ファイルメーカー　導入検討結果について

概要：　大阪地区で使用されている「能力認定リスト/ FileMaker」の延岡地区への導入を目指し、各部署およびメンバーへの説明および意見交換を行った結果、2023年度中の運用開始は行わないこととした。

1. **導入検討対象**

・延岡製造所-製造課

・医薬工場-製造課

1. **実施事項**

・FileMakerのセットアップ：　各製造課から「工程一覧」と「作業者一覧」を入手し、データベースへの打ち込みを完了した。

・打ち込みデータをもって各製造課に対し、目的および実施要領と実操作の説明を行った。

・延岡製造所-製造課：運用開始できる状態に至ったが、実運用はなされていない。

・医薬工場-製造課：運用自体に消極的であった。

1. **詳細**

各部署ともに現場では運用に関するプライオリティは低く、近々の導入と運用開始を躊躇することとなった。

元々は大阪・延岡3部場の統一システムによる情報共有と安全操業への貢献であったが、新たなデータベース導入の手間とその効果に関する懐疑的な見方が多数を占めたことによる。今現在、Excelを主とした紙運用が主流ではあるが、それと比較して導入効果が低いように感じられる一方、新しい負担が増える、という現場の意見を尊重した結果である。

現場の皆さんからの意見

・もし日々入力ができるならば現在の資料と置き換えることができ、業務負荷の軽減になると思われるが、本システムの導入をすると新たな作業が増える結果になると思われる。

・基準が統一されることはいいこと。外部からの監査に対してその基準を伝えられる。ただしFileMakerでなくてもよい。

・年度末の力量評価まとめには使える。ただし現在もExcelにて運用できており、新しい操作を覚える意義が見当たらない。

白井の考え

FileMakerへの登録、設定は白井がやるにしても、作業者の打ち込み、作業者からインストラクターへの評価依頼、インストラクターの評価等、現場担当者にとっては習得しなければいけないことが増える一方、それに対する効果は低いという事には同意した。

基本的にやっていることはExcelと同じである。

つまり、「縦軸：製造工程　/　横軸：個人名」という表を作り、能力評価を記入することであると言える。

情報共有という事であれば、Excelの活用であっても基準を3工場にて統一すればいいことであり、新たにFileMakerを導入する意味を見いだせなかった。「能力認定リスト / FileMaker」を運用する場合、使い方を覚えるなど、現場サイドにとっては新たな負担を増やす方が大きな問題であると思われた。

また、FileMakerで作られたデータベースの管理という新たな問題が生まれる。

私としては比較的現場負担の少ない方法として、SharePoint上でExcel資料を共同管理していく手法を提案したい。確認依頼メールの自動送信も可能であり、「能力認定リスト / FileMaker」と同等のことが実行可能であると考える。

本能力認定リストの導入は必ずしも製造課員が持っている要望に応えていない。現場の意見を聞いた結果、彼らの要望は、非定常作業手続きや、変更管理の書類管理の簡素化の方にあり、結果として、こちらをSharePointによって行うという事を提案させていただき、ページおよびその手法をデザインした。延岡製造所では運用が開始されているが、自動通知機能を運用してくださっていないため、それについては機会を見て紹介しようと考えていた。コンタクトを取り続けているが、時間的余裕がないようである。徐々に進めていきたい。医薬工場においても運用可能となっているので、こちらでも積極的に広めていきたいと考えている。

自分としては、能力認定リストを使ってもらおう、使ってくれるだろうという考えのもとに本業務を進めたことを反省している。トップダウンで進めていこうとする風潮はあり、それに従ってしまう風潮もあると思う。疑問を持っても目標に組み込むとその達成だけが目的になってしまい、運用開始に向けてその手段を考えるのみになる。

最後に、現場の声を聴いたのちに収集したリーダーの皆さんからの意見を記載する。

1. 各部署・リーダーの皆さんへのインタビュー結果

〇：導入前向きな意見　？：導入効果への疑問点

松村さん

〇　データベース化は必須。情報が自然に維持されることは管理上よい。

エクセルは管理が大変。フォームの統一や長期間の記録の紐づけがしづらい。

？　逆に管理がしっかりできるならばExcelでもよい。

データベースを導入するにしても他の業務が多い今ではない。

小田さん

〇　共通データベースはよい。

？　新たな手間を変えることは大変かもしれない。

Excelその他でも管理ができるのならば問題ない。FileMaker必須がではない。

東さん

〇　リーダークラスが部下の技量を把握できるという意味ではとても良い。

　　改竄ができない点もよい。

？　エクセルでも管理は昔からしっかりできている。

　　データベース化するにしても今である必要はない。

松田さん

〇　データベースによる一元管理自体はよい。

能力の把握という意味ではよい。

？　新たな手間の割には効果が薄いかも。

　　認定された工程を一度離れてしまうと、習熟度を見直す必要があり、複雑になりえる」。

　　Excelでもでき、今までとの違いが見いだせない。

中島さん

〇　資格取得準備状況の確認や職階転換時の資料としては使えるかもしれない。

　　電子印が使用できることはよい。

？　公的資格との連動（例えばe-JIK内の力量評価との連動）がないことは厳しい。

能力評価のための資料としては情報量が少ない。

他の資料との二重帳簿になることを恐れる。

あまり便利さが明確でなく、今の紙管理でも十分かもしれない。よって、医薬工場としては導入の決断ができないままでいる。

その他・・・・・。

上ノ下さん

〇

？　GMPに対応していない。

現在は紙だが管理できている。手間をかけてデータベース化する意味が見いだせない。

田中さん

〇　全社的にと情報共有できる点はよい。

？　現在の状況でも管理はできており、新しいことを始める効果を見いだせない。

能力認定よりも、非定常作業の簡便化に時間を割きたい。

檜垣さん

〇　情報共有という点ではよい。

　　一年に一回のまとめにだけ使える。

？　Excel等にて今も管理ができており、使い勝手もいいわけではない。

非定常作業手続きの簡素化の方が優先。